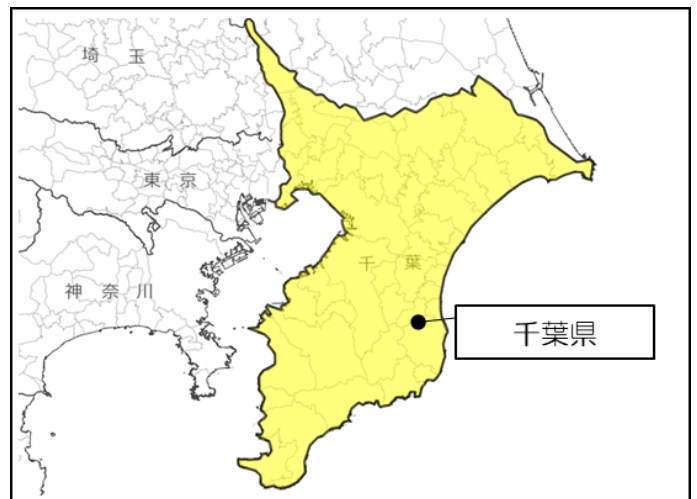


令和7年度孤立集落状況把握・支援訓練 (千葉県・内閣府)

実施報告書 (概要版)

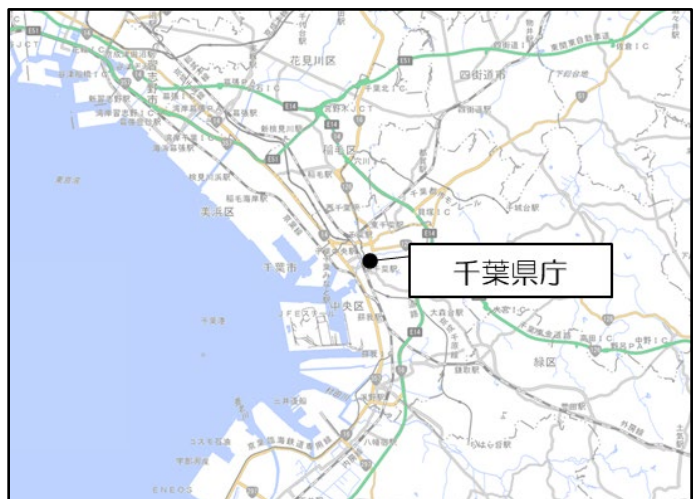
千葉県について

- 千葉県は、首都圏の東側に位置し、太平洋に突き出た房総半島にあり、200～300m級の山々が続く房総丘陵を除き、ほぼ平坦な地形であり、海岸線の長さは531kmに及ぶ。
- 人口は628万人で、全国第6位(令和2年国勢調査)であり、面積は5,156km²である。



主な被害想定

- 千葉県北西部直下地震の揺れによる被害や、房総半島東方沖日本海溝沿い地震の津波による被害が想定される。
- 平成26・27年度千葉県地震被害想定調査では、千葉北西部直下地震が、平日の昼12時に発生した場合、自宅からの外出者数は約190万人であり、そのうち帰宅困難者は約74万人と予測されている。
- 県内の農業集落の約59%に相当する468集落、漁業集落の約36%に相当する64集落を津波や土砂災害、液状化により孤立する可能性があるとしている。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：大正型関東地震(M7.9)が相模トラフ沿いで発生し、県内で最大震度7の強い揺れが発生。
千葉県南部を中心に甚大な人的・物的被害が発生するとともに、多数の避難者・帰宅困難者、複数の孤立集落が発生。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和7年12月17日(水)14:00～16:00
【孤立集落状況把握・支援訓練】令和8年1月20日(火)10:00～17:15
- 主催：千葉県
- アドバイザー：宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科
近藤伸也 准教授
- 参加者数：80名
- 参加機関：千葉県職員、九都県市職員、警察、消防、自衛隊、県社会福祉協議会、ライフライン事業者、民間事業者
- 訓練項目：災害対策本部図上訓練、模擬記者レク
- 訓練の特色：九都県市合同防災訓練・図上訓練において、千葉県災害対策本部事務局各班は孤立集落対応と並行してその他の対応も担った。
県は地震発生直後に災害対策本部を設置しており、発災後66時間経過した時点から訓練を開始した。
訓練シナリオは非開示型であり、想定及び状況付与に基づき、プレイヤーが主体的に判断し、行動した。自衛隊や消防等の外部機関・協定事業者もプレイヤーやコントローラー役として参加した。

訓練の成果

【成果】

- 訓練前ワークショップは、千葉県庁の中でも特に孤立集落対策を担当する職員を対象に、過去の災害に関する講義及び孤立集落の対応方針を検討する内容で実施した。図上訓練を前に、孤立集落対策で考慮すべき観点や対応方法を理解する機会となった。
- 図上訓練は、九都県市合同防災図上訓練の一環として、発災3日後を想定した孤立集落対策を実施した。同時多発的に各種対策を進める中で孤立集落対応を行い、「組織横断的な対応が必要になること」などの気づきがあった。
- 関係機関が現地又は遠隔で参加したことで、実践的かつ関係構築に繋がる訓練となった。
- 今回の訓練を受けて、今後も孤立集落対応の観点を取り込んだ訓練を実施することを検討している。

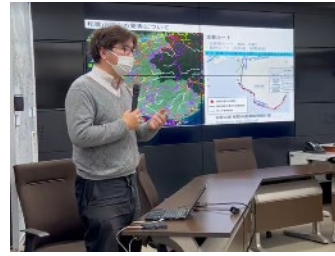
【課題】

- 各対応班で個別に孤立集落に関する情報収集等の対応を実施したが、収集した情報の集約、組織横断的な対応については改善の余地がある。

12月17日(水) 14:00～16:00 訓練実施前ワークショップ

- 過去の災害事例を学び、孤立集落発生時における集団避難の判断と対応策を検討するワークショップを実施した。
- 被害想定等についての説明や対応指示を踏まえ、各対応班で孤立集落の状況把握や想定される対応等を検討した。その上で、県内で発生した孤立集落に対して、①集落から避難又は②集落内での生活継続のどちらを選択するか方針や対策を検討した。

▼近藤アドバイザーによる講義



▼参加者全員によるグループワーク



1月20日(火) 10:00～17:15 孤立集落状況把握・支援訓練

- 千葉県庁職員を対象に、大地震発生を想定した図上訓練を実施。
コントローラー役による状況付与を受け、各班が災害対応を行い、その中で孤立集落対策にも取り組んだ。

▼各班による対応



▼各班による対応



- 孤立集落対策に関連し、救助要請や物資支援要請、住民や議員、報道機関からの問合せ等の状況付与を行った。

▼各班による対応



▼関係機関調整会議



- 関係機関の情報共有を目的とした「関係機関調整会議」を実施した。

- 自衛隊や消防等の部隊運用調整を目的とした「部隊運用調整会議」を実施した。

▼各班長による模擬記者対応



▼質疑



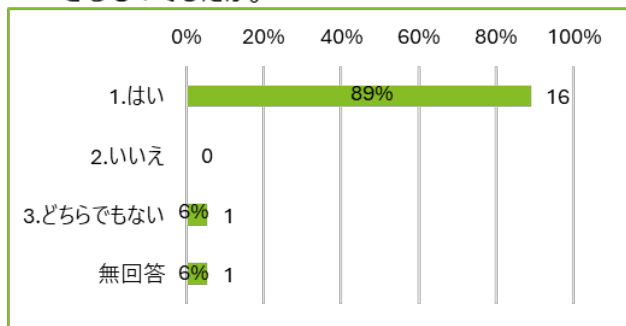
- 記者会見を想定した模擬記者レクを実施した。

- 訓練終了後、講評・振り返りを実施した。

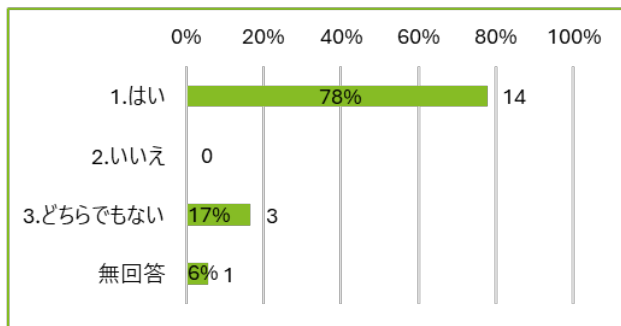
アンケート結果

回答数：18

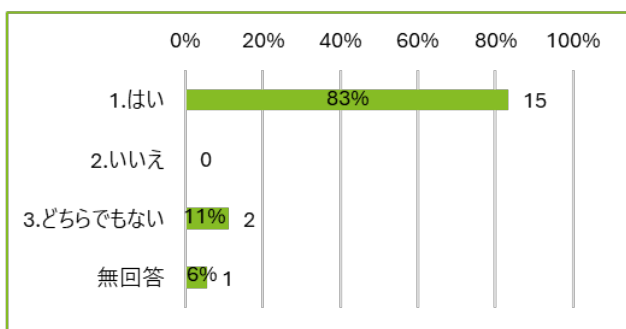
1. 訓練前ワークショップの講義は、孤立集落が発生した際に取りべき対応や課題について理解できるものでしたか。



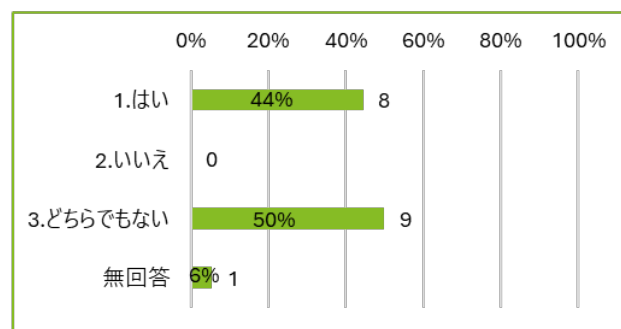
2. 訓練前ワークショップの講義は、孤立集落対応の実務を行ううえで役に立つ内容でしたか。



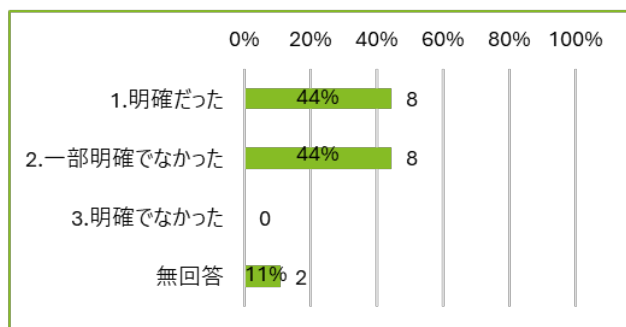
3. 訓練前ワークショップを通して、集落の集団避難に関する理解は深まりましたか。



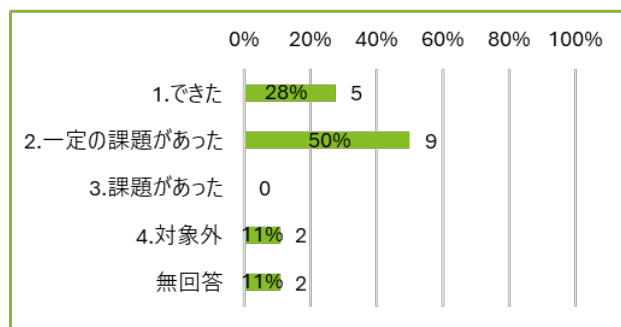
4. 訓練前ワークショップに参加したことで、今回の訓練の対応は円滑になりましたか。



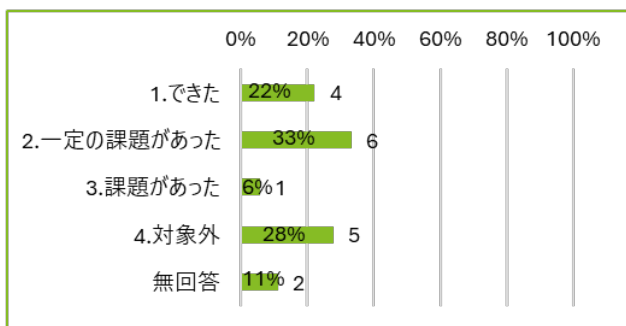
5. 今回の訓練では、自身の役割・自身の班の役割は明確でしたか。



6. 今回の訓練では、孤立集落発生時の状況把握のため、円滑必要な対応ができましたか。



7. 今回の訓練では、孤立集落の状況を踏まえ、集団避難の要否は迅速・的確に判断できましたか。



8. 今回の訓練では、孤立集落発生時の状況把握のため、円滑必要な対応ができましたか。

